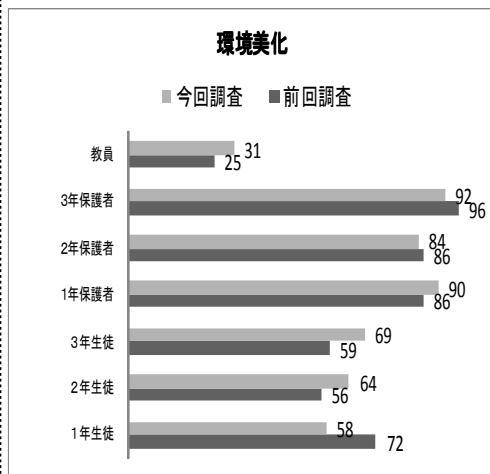


学校評価アンケート結果のお知らせ④

アンケート結果といただいたご意見

〔1〕環境美化に対する取組



1回目(7月)と2回目(12月)の比較

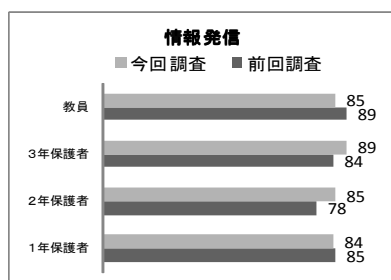
(あてはまる・ほぼあてはまると回答した割合)

- ・清掃をまじめにやらない生徒がいる。(教員)
- ・やる生徒とそうでない生徒の差が大きい。(教員)
- ・トイレの掃除担当は、女性教諭にして、不十分であればやり直しを徹底する。(教員)
- ・掃除道具の管理不足、教室内のワックスがけの必要性を検討してみたいかがか。トイレ・廊下・教室等決して良い環境とは言えない。(教員)
- ・トイレなど掃除を嫌がる場所も皆できちんとやらせるべき。時間がきたら終わりではなく、きれいになったら掃除を終わらせる、というきまりにしないと、その時間だけどこかに行き、いやなことはやらなくて済む状態はつくりやすい。上の子の高校の先生が、とにかく掃除をしない。特にトイレ、主に女子はほとんどしない。と、おっしゃっていました。悲しい現実です。いずれ身に返ってくることでないでしょうか。(保護者)
- ・学校に行った時あまりの汚さにびっくりしました。掃除の時間をもう少し厳しくしたら・・・。(保護者)
- ・トイレが使いにくい。特に男子トイレは、子どもが嫌がっている。(保護者)

(いただいたご意見の一部抜粋)

掃除への取組状況には課題が見られる。特に、保護者の意見にもあるが、女子の取組状況が全般的に悪い。「拭き掃除」や「草抜き」などの、手が汚れる作業などにもしっかりと取り組む習慣を身につけさせる必要がある。掃除の後、「きれいになった」と、実感でき成果がわかる掃除の実践を通して指導を行っていく。校舎の老朽化や水道設備の少なさなどの問題はありますが、それゆえの指導と環境整備を行っていく。家庭でも自室の掃除は勿論、拭き掃除やトイレ掃除など「一般には嫌がる場所」を一緒にする(させる)など、ご指導下さい。

〔2〕学校は様子をよく伝えているか



1回目(7月)と2回目(12月)の比較

(あてはまる・ほぼあてはまると回答した割合)

- ・授業研究や安全指導等、生徒の話題の他に、先生方の指導の様子も学校便りで知らされ、保護者も協力しようという気持ちにさせられる。(保護者)
- ・学校便りは頻りに発行されているので、子どもが話さない情報も知ることができています。(保護者)
- ・いろいろ配布してくださっているようですが、そのプリントを見せられないので困っています。(保護者)
- ・学級通信、クラスの様子がよくわかる内容でとてもいいです。
- ・クラス便りがないので、よく学級のことがわからない。(保護者)

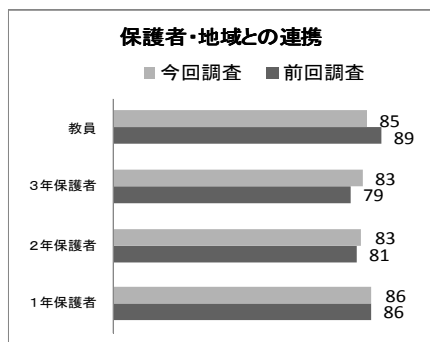
(いただいたご意見の一部抜粋)

おおむね良好の評価となっている。学校便りを通じて良いことはもちろん、悪いこともきちんと家庭に伝えていくことがこれからも大切である。今後、学校ホームページの充実を図り、家庭配布のプリント等をダウンロードできるようにと計画である。各学級の学級だよりについては、各担任は、授業の準備や生徒指導、部活動等に多くの時間を要しており、発行できないでいることについてご理解いただきたい。

学校評価アンケート結果のお知らせ④

アンケート結果といただいたご意見

〔3〕学校と家庭は協力できているか



1回目(7月)と2回目(12月)の比較

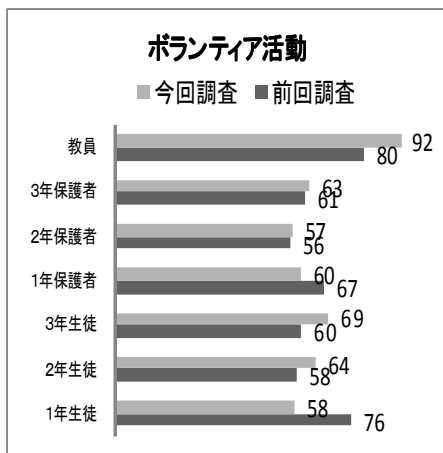
(あてはまる・ほぼあてはまると回答した割合)

- ・参観日はもう少しあったほうがよいのかと思う。(教員)
- ・学校は積極的に発信していますが、地域の方は限られた一部の方以外は関心がないようです。(保護者)
- ・この学校評価アンケートで改善に役立つのでしょうか。今までどおり自信をもって教育して頂きたいと思います。(保護者)
- ・学年ごとの便りがもう少し頻繁にあればいいと思います。(保護者)
- ・文化祭時、身内がいないと体育館へ入れてもらえない人がいました。(保護者)

(いただいたご意見の一部抜粋)

8割以上の高評価となっている。参観日や環境整備活動、バザーや各行事においてPTA役員の方には多くのご協力をいただいている。ただ、性教育講演会や家庭教育学級、学校保健安全委員会などでは、参加希望者が少なく、役員の方に声かけをいただくなど参加者の確保が難しいものもあり、もっと積極的な学校行事への参加が望まれる。来年度からコミュニティスクールの開始にあたって、学校・家庭・地域の一層の連携が求められるので、今後もご協力をお願いします。

〔4〕生徒はよくボランティア活動に参加する



1回目(7月)と2回目(12月)の比較

(あてはまる・ほぼあてはまると回答した割合)

- ・クラスにより差がある。昨年度に比べ、今年度の方が参加者が少ない。(教員)
- ・便利な時代なので手伝う(めんどう)なことは嫌みたいです。積極的に奉仕する精神を養うよう指導します。(保護者)
- ・部活動と重なり、参加できないことがあります。ボランティア活動参加の際は、休んでも大丈夫な環境があると、より参加できるようになると思います。(保護者)
- ・とてもいい経験になっていると思います。(保護者)
- ・ボランティアの意味や必要性を指導してほしいと思います。(保護者)
- ・部活動中心の生活を送っているので、ボランティアをしたい気持ちもあるけど時間や気持ちのゆとりがないようです。(保護者)
- ・まだ参加したことがないので参加したい。(生徒)
- ・詳しい活動について、説明した紙を配るといいと思う。(生徒)

(いただいたご意見の一部抜粋)

ボランティア活動については、教員の評価は高いが、保護者・生徒の評価は6割程度にとどまっている。部活動との関係で活動しにくいとの意見が毎年あるので、周南こどもゆめまつりについては部活中止として活動の機会をつくっている。

内申書のためにやるのではなく、真のボランティア精神を身につけてほしいとの意見がある。自分の活動に対し、「ありがとう」と言ってもらった経験をさせたい。そのとき、どんな気持ちになるのか。その気持ちを大切に育てていきたい。

